

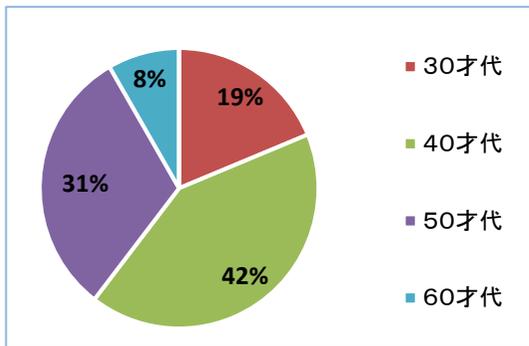
令和4年度 第1回 緩和ケアを学ぼう会 参加者アンケート結果

- ◆日時 令和4年6月7日(火) 18:30～
- ◆オンライン配信
- ◆参加人数 88名(会場10名 Zoom78名)
- ◆アンケート協力者数 48名

1. 事例・取り組み紹介
 「地域包括ケア病床でのチーム介入の実際」
 湯田川温泉リハビリテーション病院 地域医療連携室 看護師 小林 磨加 氏
- ・ 話題提供 「もしバナゲームを使ってみました」 荘内病院 内科医師 和泉 典子 氏
2. 講義
 「在宅における終末期利用者の療養支援 ～訪問看護の立場から～」
 訪問看護ステーションハローナース 看護師 齋藤 典子 氏

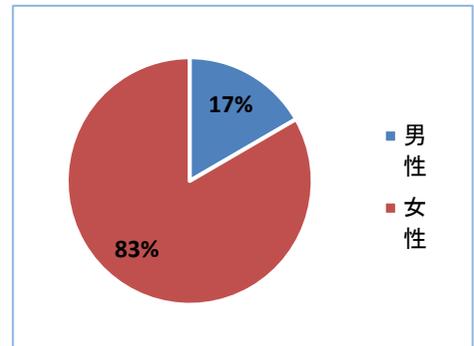
【年齢】

20才代	0
30才代	9
40才代	20
50才代	15
60才代	4
70才代	0
無回答	0
総計	48



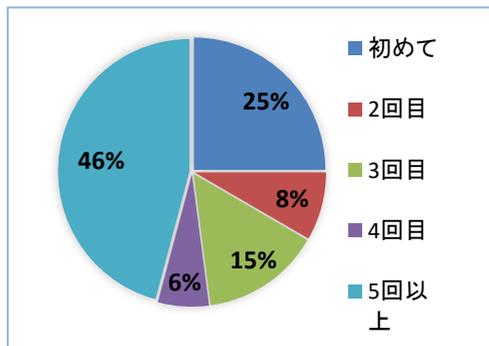
【性別】

男性	8
女性	40
無回答	0
総計	48



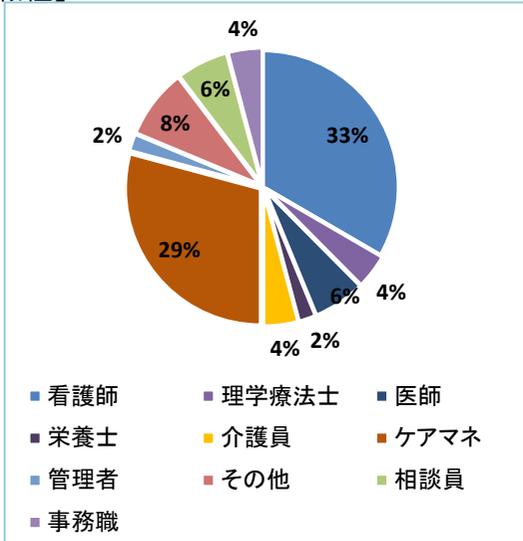
【参加回数】

初めて	12
2回目	4
3回目	7
4回目	3
5回以上	22



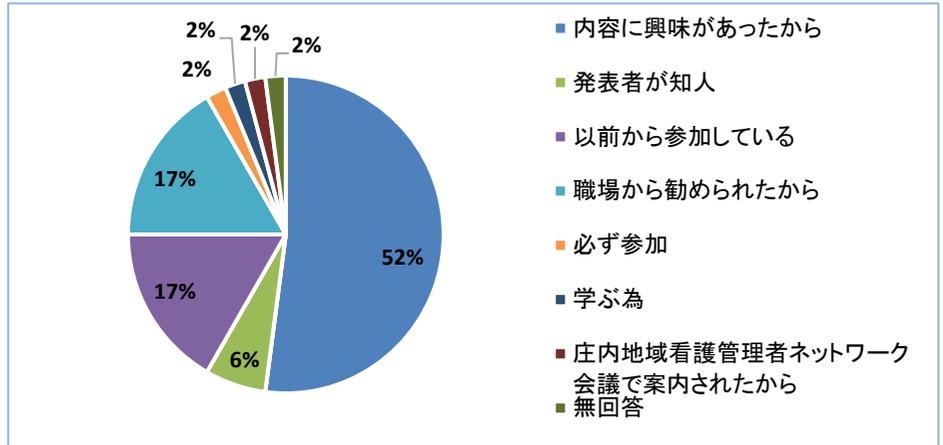
【参加者の主職種】

看護師	16
理学療法士	2
医師	3
栄養士	1
ケアマネ	14
相談員	3
介護員	2
管理者	1
事務職	2
その他	4



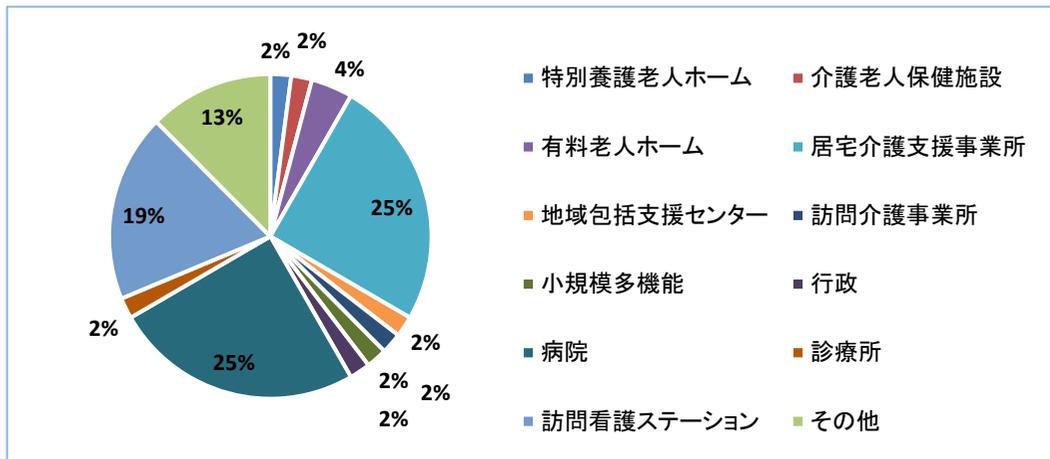
【参加した理由】

内容に興味があったから	25
知人に誘われたから	0
発表者が知人	3
以前から参加している	8
職場から勧められたから	8
必ず参加	1
学ぶ為	1
庄内地域看護管理者ネットワーク ワーク会議で案内されたから	1
無回答	1



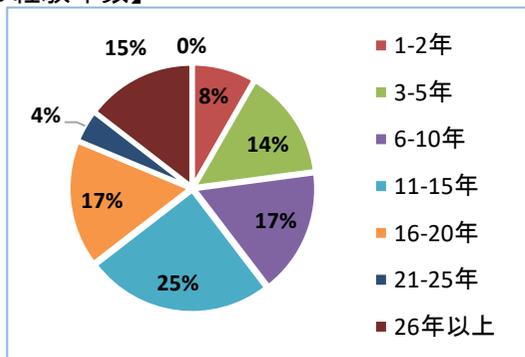
【勤務場所】

特別養護老人ホーム	1
介護老人保健施設	1
有料老人ホーム	2
居宅介護支援事業所	12
地域包括支援センター	1
訪問介護事業所	1
小規模多機能	1
行政	1
病院	12
診療所	1
訪問看護ステーション	9
その他	6
総計	48



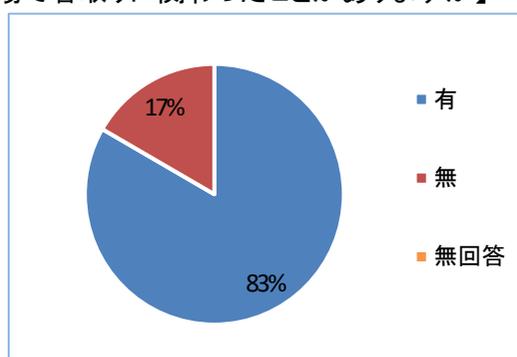
【現在の職業の経験年数】

1-2年	4
3-5年	7
6-10年	8
11-15年	12
16-20年	8
21-25年	2
26年以上	7
総計	48



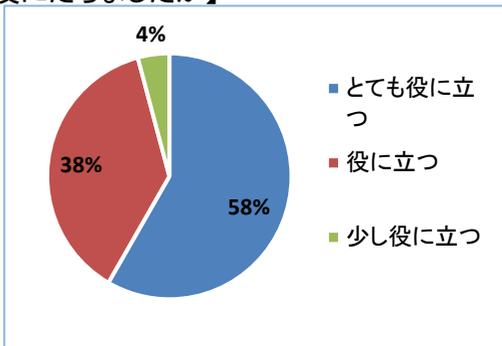
【今の職場で看取りに関わったことがありますか】

有	40
無	8



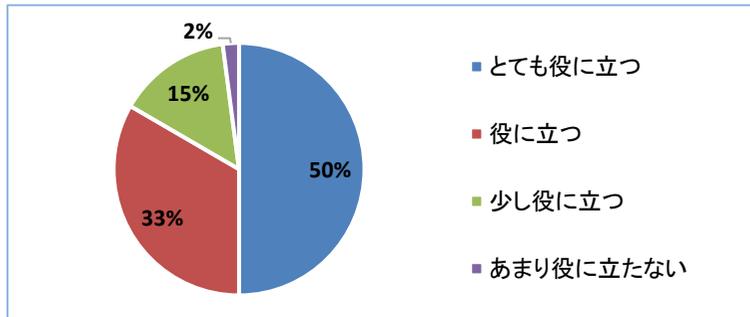
【この研修会は全体的に役に立ちましたか】

とても役に立つ	28
役に立つ	18
少し役に立つ	2
あまり役に立たない	0
役に立たない	0
無回答	0
総計	48



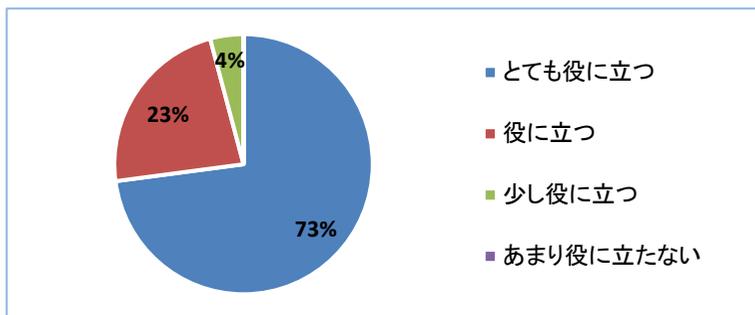
【事例1は役に立ちましたか】

とても役に立つ	24
役に立つ	16
少し役に立つ	7
あまり役に立たない	1
役に立たない	0
無回答	0
総計	48

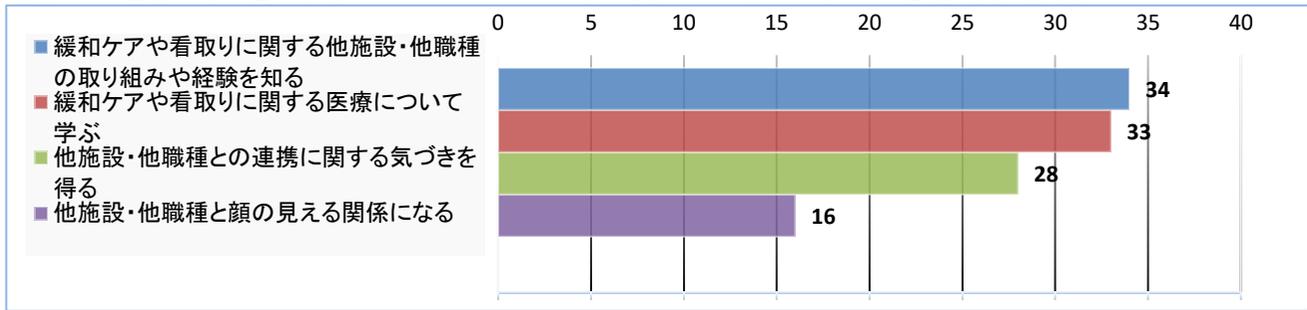


【講義は役に立ちましたか】

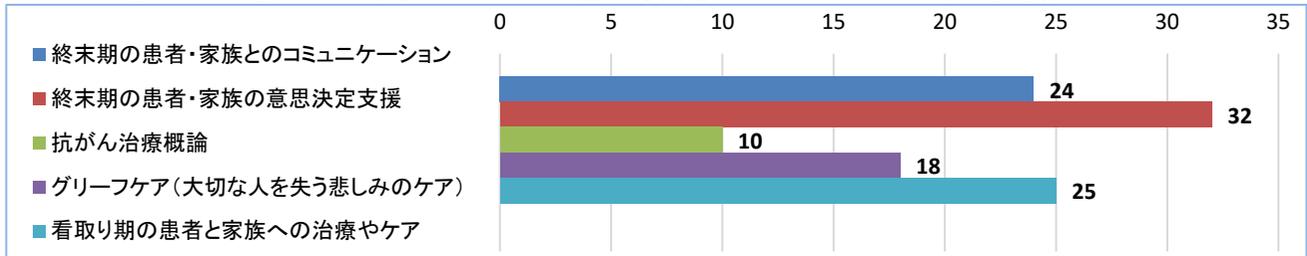
とても役に立つ	35
役に立つ	11
少し役に立つ	2
あまり役に立たない	0
役に立たない	0
無回答	0
総計	48



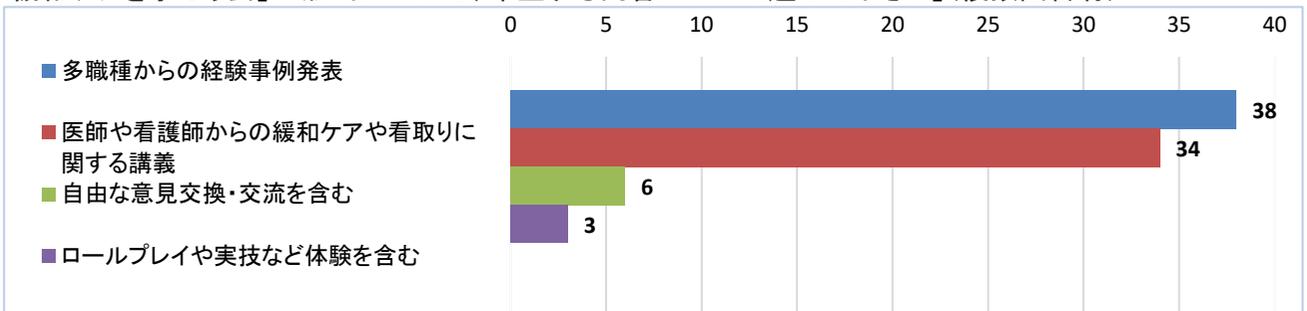
【「緩和ケアを学ぼう会」は、あなたにとってどのように役立つと思いますか？】(複数回答有)



【「緩和ケアを学ぼう会」の講義内容について、希望する内容について選んで下さい】(複数回答有)

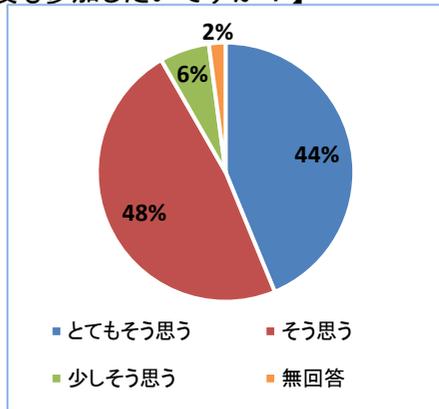


【「緩和ケアを学ぼう会」の形式について、希望する内容について選んで下さい】(複数回答有)



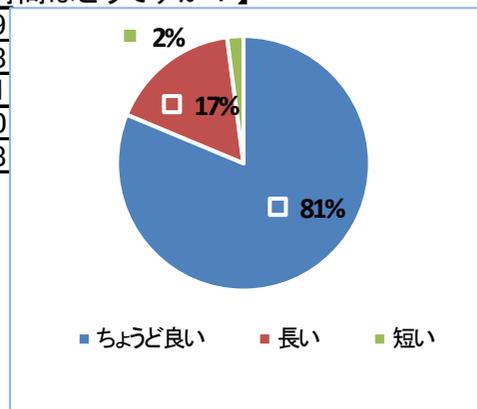
【この研修会に今後も参加したいですか？】

とてもそう思う	21
そう思う	23
少しそう思う	3
あまりそう思わな	0
そう思わない	0
無回答	1
総計	48



【研修会の時間はどうですか？】

丁度良い	39
長い	8
短い	1
無回答	0
総計	48



§ ご意見・ご感想など自由記述 §

- 貴重なお話を聞けてよかったです。ありがとうございました。
- 途中雑音が多くて演者の声が聞き取りにくい事がありましたが、ほかの方は大丈夫だったようなので、こちらの問題だったのかもしれませんが。典子さんの講義はとても詳しく具体的で、ハローナースさんの意識の高さを改めて実感しました。
- 訪問看護さんの、きめ細かな対応、声かけ、グリーフケア迄のケアの実際がより詳しく聞け勉強になりました。ご本人様は勿論、ご家族様の大きな支えになっています。私達ケアマネにとっても大きな支えになっております。ありがとうございました。
- 今回も参加させて頂きありがとうございました。若干演者の声が聞き取りづらい箇所がありました。

- ◎ 何が本人にとって最善の選択になるのか、意思の確認などその後も含めまだまだ、やらなくてはいけないことが沢山有り日々勉強改めて、本人、ご家族との関わりを考えさせられました。少しでも学んだことを今後の支援に役立てたらと思います。ありがとうございました。
- ◎ 特に斎藤さんの講義は具体的なことがたくさん紹介さらに充実した内容で多くのことを学ぶことができた
- ◎ グリーフケアについて改めて学んでみたいと思いました。
- ◎ 大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ◎ 患者さんや利用者さん、家族の方に寄り添って傾聴できる支援の大切さを改めて感じました。
- ◎ 今回も具体例を聞くことができ、大変勉強になりました。少しずつでも家族とACPIについて話していきたいと思います。
- ◎ 貴重なご講義ありがとうございました。終末期の患者さん、ご家族の方の気持ちは揺らぎやすく体調などによって変化することを学ぶことができました。そのようなときは対話を続け、意思決定を支援することが重要で、私自身今後のケアを通して、患者さんの日々の表情や言動にも目を向けて、気持ちの変化があればキャッチできるような関わりをしていきたいと思います。本当にありがとうございました。
- ◎ 現在関わっている終末期の患者さんやこれまでお看取りさせていただいた患者さんを思い浮かべながら、大変勉強になる講義でした。コロナ禍になり面会制限下での病院看護師としての役割を改めて考えて実践に活かしていきたいと思います。
- ◎ 自分の業務からの目線になりがちです。医療との連携をする時、どのような取り組みをされているか理解しながら業務をするで自分のやるべき仕事も見えてくると思います。ありがとうございました。
- ◎ 療養者と家族の意向の確認、意思決定支援の難しさを再認識すると共に、自分の関わり方について深く考える事が出来ました。ご講義ありがとうございました
- ◎ 短時間では学べない内容でとても勉強になりました
- ◎ それぞれの職種の役割を知ることで、介護と医療の連携ができることを意識して仕事をしているつもりですが、なかなか現実には難しいと思う場面が多いです。今回の講義の利用者の意思決定を引き出す、見極める方法や寄り添う姿勢を学ぶことが出来ました。改めて、日々の業務でも生かせる内容が多くありました。ありがとうございました。
- ◎ 終末期を迎えるお客様への関わりにつき参考になりました。
- ◎ 配信状況も良く、内容も分かりやすく、興味深く聴かせて頂きました。現在、救急センターに勤務しております。一般の方が、自分達だけで最期を看取することは余程の覚悟が必要だと察します。耐え切れずに救急車を呼んでしまうことも、仕方ないと思います...そうした方々をお迎えした時、それまでの長い経過やサポートしてこられた皆さんの関わりや背景も知らない私達が、最期の宣言の場に立ち会うにあたり、静かな場所も提供できなかつたり、労いの言葉かけができなかつたりと、自責の念に囚われる事もありました。在宅に関わる方々からの情報も大変貴重です。こちらも、ご家族の揺らぎを理解して、穏やかに丁寧な対応を心がけていこうと思います。退院時の継続だけでなく、入り口としての当部署との連携も宜しく願います。本日のご準備も含め、貴重な機会を頂き、感謝しております。お疲れ様でした。
- ◎ 和泉先生からの話題提供として話された、「もしバナゲーム」についてとても興味があった。自分の母と人生会議のことを話した時があり、母に「あなたは私がいなくなり事を望んでいるのか」と言われたことがある。この度の話題提供をきっかけに話ができるといいなと感じました。講義を拝聴し意思決定とはいいうものの本人・家族の気持ちは日々揺れ動くと思う。その中で本人・家族の意思決定に寄り添うことと、不用意な言葉で傷つけないように留意する傾聴が重要であることを再確認させていただいた。とても有意義な時間を頂きました。ありがとうございました。
- ◎ 在宅での看取りを希望する方はまだ少ないと感じます。最期は本人の望む場所で家族と一緒に過ごして欲しいのは安易な考えなのか...家族は大事な家族が終りに近づく姿を常に見ていて不安や戸惑いがある病院や施設を選択するのなら少しでも不安を取り除くお手伝いをして患者さんの希望に沿って支援出来たらと考えています。
- ◎ 家族への対応の実例、言葉かけや対応等の具体的にあればと感じました。他の事業所の例を聞かれ有意義な時間で参考になりました。ありがとうございました。
- ◎ 時間がなかったのか、早口で雑音も入り聞き取りにくかった。
- ◎ Zoomの操作が不慣れで、ビデオ推奨のメッセージに気づいたのが終わりの時だったので、残念でした。

